
遊戯王～絆の集結～

満足死

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王〜絆の集結〜

【Nコード】

N2925K

【作者名】

満足死

【あらすじ】

パラドックスとの戦いを終えなおもネオ童美野シティをデュエルで守り続ける不動遊星だったが、夢に導かれ仲間達と共に旧モーメント跡地に向かう。

映画遊戯王の続きという設定ですのでネタバレが少々いやな方や初めての小説が苦手という方はご遠慮ください。

世界観は映画遊戯王終了後、鬼柳さんを救った直後です。

プロローグ（前書き）

日本語が苦手なので意味不明な部分が多いかもしれませんがよろしくお願いします。

プロローグ

ダークシグナーとの戦いが終わり、パラドックスの野望も打ち破った不動遊星だったが、そんな中で気にしていた事があった。

パラドックスの

「歴史を放っておけば世界は滅びる、私はその絶望的な未来を変えるためにここに来た。」

という発言だった。

その事について悩んでいた遊星は、その晩に奇妙な夢を見た。

いつもゼロ・リバーズの夢をよく見ていたが、そこで夢が覚めることなく、暗闇の中で誰かに呼びかけられた。

「遊星…遊星…」

「だれだ!？」

「私の顔を忘れたわけではないだろう。私だ。」

そこにいたのは旧モーメントの開発にかかわっていた不動博士、そう、遊星の父親がいたのだ。

「父さん…どうしてこんな所に」

「お前に頼みたい事があってな。明日の夕暮れに旧モーメント跡地に来て欲しい。シグナーの仲間達と共に。」

「何故なんだ!？ダークシグナーとの戦いはもう終わって、俺達はこれからWRGPの予選に向け「遊星、お前のこれがお前の指名なんだ。歴史を放っておけば世界は滅びる。」…。」

遊星は父親がパラドックスと同じ事を言っているのに驚き、言葉が続かなかった。

「明日待っているぞ。」

「待ってくれ!父さん!」

あたりが真っ白になり、そこで夢は途切れた。

「夢か…」

遊星はその夢のことについて仲間達に話し、着いてくるかどうかを聞いた。

「危険な戦いになるかもしれない。それでも覚悟があるならついて来い！」

「おお、当然だ！ジャック・アトラスは、その程度の事で怯むような男ではない！」

「遊星、俺も行くぜ！」

「私もいくわ、遊星。」

「私もよ。」

「龍可がいくなら俺もだぜ！」

シグナーは全員着いてくるといい、ブルーノに対してはいざという時の為に残ってもらうことにした。

「そういえば、龍亞、龍可、この前頼まれたデュエルボードの調整が終わった。この際、持っていくか？」

「「うん！」」

「そうか、みんな行くぞ！旧モーメント跡地へ！」

「ここがモーメント跡地か…」

「聞いた話だと幽霊が出るとかそんなくだらない噂のせいで誰もこの土地を買わないそうだ。」

クロウの質問に対しジャックが答える。

その直後、旧モーメント跡地が急に光りだした。

その光は、遊星とルドガーがここでデュエルした時に放たれたものと同じだった。

『遊星、その光に飛び込め』

その声が聞こえたのは遊星だけだったようだが不動博士の声が聞こえた。

「みんな、あの中に飛び込むぞ！」

「ええ！？」

そういつつも、遊星に続き、ジャック、クロウ、アキ、龍亞と龍

可が光の中に消えていった…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2925k/>

遊戯王～絆の集結～

2010年10月9日01時01分発行